

春風秋霜 12月号

令和5年12月20日
島田市教育委員会だより
教育長 山中史章

春風をもって人に接し、秋霜をもって自らを慎む 佐藤一斎

1 伊久美で行われた「サタデーオープンスクール」に参加

島田市では、学校教育課が主催して、伊久美地区を中心に、サタデーオープンスクール、サマーオープンスクール、伊久美への移動教室を実施しています。

伊久美の自然の中で行われる活動は、子供たちにとってとても印象的で、思い出に残るような企画ばかりです。

今回は、静岡県志太榛原農林事務所や島田市農林整備課とのコラボで、「伊久美の森で遊ぼう！！森林体験ツアー」を開催しました。今回、中心になって進めてくださったのは、NPO法人伊久美・楽山舎の西野さんでした。子供たちのためにいろいろな企画を用意してくださっていました。

集合場所は、伊久美の二俣地区にある古民家里屋敷（さとやしき）でした。そこには、伊久美の自治会長さんや、島田市議会の議長さんをはじめ、何人もの市議員さんが参加してくださっていました。もちろん地元の関係者の皆さんも協力してくださっており、東京農業大学の学生さんも3人参加してくださっていました。児童・保護者の参加者は30名ほどで、サタデーオープンスクールの人気の高さを再認識することができました。

今回は、森林体験ツアーですから、全員で講師の先生の話聞いた後、ヘルメットをかぶって、けがをしないように手袋をして、山に向かいました。山では木材関連の方が実際に杉の木を切って、安全な方向に倒す方法を見せてくれました。その後、切った杉の木をロープで引っ張って倒す体験を子供たちにさせてくれました。また、杉の木の成長が分かる年輪の数え方を教えてくれたり、杉の木の成長は、葉っぱにどれだけ太陽の光が当たるかによって決まることなどを説明したりしてくれました。



また、宮大工さんも来てくださっていて、昔から伝わる切った杉の木を柱にする方法も見せてくれました。道具を使って皮をむき、四角い形に丸太を成型していくという職人技には、子供達も感心していました。日頃できない体験と、見ることがない職人さんの技を見せていただくことができました。

木を倒す体験をした後、修復中の古民家に向かいました。現在、壁や床を取り除き昔の古民家の屋敷を再現しようという取り組みを行っている西田亭に向かい、ここでは、大工仕事の体験をさせてもらいました。初めてくぎを打つという子供も多かったようで、6cm程の子供にとっては長く感じるであろうくぎを片手に持って、利き腕に持った金づちでくぎを



打っていきました。初めはなかなかうまくできなかった子供たちも、何回かくぎを打つうちにうまくできるようになっていきました。くぎ打ち体験を通して、将来、家を建てる大工さんになってみたいとか、木を育てる人になってみたいと思った子供がいたかもしれません。自分で体験をすることによってしか得られない感情というものがある気がしました。私自身は、自分の部屋を父と一緒に作ったという体験があるので、大工仕事は大好きです。今でも、家の内壁に杉板を張って山小屋風にしたり、電気工事ができるように電気工事士の資格を取ったりと、少しくらいの修理は自分でやってしまいます。



くぎ打ち体験の後は、のこぎりで木を切る体験をすることができました。

最後に、木工クラフト体験ということで、子供達は、クリスマスリースを作って、伊久美の森で遊ぼうの活動を終わりました。

今回の経験も子供たちにとって素晴らしい経験になったと思います。

肘かけ椅子

「その先に向けて」

社会教育課長 清水 基之

今年、「社会教育委員研修会」や「しまだガンバ!」など社会教育課事業の実施に伴い久しぶりに諏訪原城跡を訪れました。旧金谷町との合併当時に文化財係に在籍していたこともあり、個人的に思い入れのある史跡です。当時と大きく変わったのは①二の曲輪北馬出門の復元、②本曲輪から大井川を望む絶景スポットの創出、③ビジターセンターの開設などです。勿論この間には、発掘調査等による研究も着実に進んでいますが、特に③については、他市他県からの観光ツアー対応などにより広く来場者を呼び込む効果があった、とセンターの職員さんに教えていただきました。

諏訪原城は、研究者の間では戦国期屈指の山城として高く評価されている一方で、近世城郭とは異なり天守閣を持たない土造りの城であるため、一般的には今なお地味な存在です。「しまだガンバ!」でも初めて現地を訪れた児童が殆どでしたが、説明を聞いて学んで体験したことで「地元の名城」にトキメキを感じた様子でした。

この日はもうひとつ嬉しいことが…。リーダーとして参加していた生徒が、私の服の“桜のエンブレム”を見て声をかけてきました。聞けば家族でRWCをテレビ観戦しており、選手がぶつかり合う迫力が凄いと楽しそうに語ってくれました。

諏訪原城もラグビーも、いわゆるマニアの領域にとどまるコンテンツではありません。こうした若い世代が身近なところからその魅力を伝えることで、より多くの方々に味わっていただけるようになればいいなあ…と改めて感じたところです。

次回RWCは4年後ですが、ジャパンラグビー リーグワンは今月からシーズンが始まります。静岡ブルーレヴズの快勝を期待し、今季もヤマスタへ足を運びます(^_^)